

報道各位

## 特別展「平福百穂展」のご案内

日頃から、宮城県美術館の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。  
当館で7月13日（土）から開催の特別展「平福百穂展」についてご案内いたします。  
ぜひ、貴メディアにて取り上げ、報道・周知して頂きたいようお願い申し上げます。

なお広報用画像のご使用や招待券プレゼントを希望される場合は同封の用紙に必要事項を記入の上、当館宛に FAX にてお申し込み下さい。

宮城県美術館

Hirafuku Hyakusui



ひらふくひゃくすい  
平福百穂展  
2019年  
7月13日（土）— 9月1日（日）  
宮城県美術館  
THE MIYAGI  
MUSEUM OF ART

その絵は平明にして深遠。

東北ゆかりの日本画家、平福百穂を知っていますか？

報道公開

7月13日（土）午前8時45分～ 担当学芸員が解説します。

ひらふくひやくすい

**平福百穂** (1877-1933) は、明治、大正、昭和初期にかけて活躍した日本画家です。

秋田県角館町かくのだて（現仙北市角館町）に生まれ、画家の父穂庵に絵の手ほどきを受けた後、上京して円山派の画家川端玉章かわばたぎよくしやうに入門、東京美術学校（現東京藝術大学）でも学びました。新時代にふさわしい日本画のあり方が探られていた明治画壇の空気に触れ、百穂はやがて自然主義に共鳴して无声会むせいかいに参加、自身の目による写生を通して、伝統に囚われない表現を探求していきました。同時に、この頃から『新声』をはじめとする雑誌や新聞で挿絵を描き、挿絵の画家としても活躍しました。

一方、1909（明治 42）年、百穂は政府主催の文展に初入選、その後特選の評価も得て、続く 1919（大正 8）年設立の帝展では審査員を務めます。日本画家として確固とした地位を築く一方、活動の軸は挿絵制作で活躍する同志と結成した珊瑚会さんごかいや日本画の研究団体金鈴社きんれいしゃに置き、写生の経験に基づけて古典を学ぶことで、表現の幅を多彩に広げて行きました。

大正末、帝展に復帰した百穂は《新冬》や《堅田の一休》を発表するなど円熟期を迎えます。1930（昭和 5）年に洋行を経験すると、日本の自然美を再認識し新たな画境へ向かいますが、3 年後、55 歳でその生涯を終えました。

本展は日本画の改革期、そしてジャーナリズムの普及と共に挿絵や装幀にも芸術性が求められた時代に、その双方と関わった百穂の画業を、修業時代から晩年まで一望しようとするものです。百穂ほか挿絵の領域で共に活動した周辺の画家の作品、資料を含め、約 160 点を展示します。

東北を代表する日本画家の展覧会を、ぜひこの機会にご覧ください。

## 1 章

## 写生の道へ

修業時代の百穂は、伝統的な日本画をよく学ぶと共に、新時代にふさわしい日本画を模索する明治画壇の空気にも触れました。百穂はやがて自身の目を通した観察と写生に基づく、自然主義の表現に惹かれていきます。



1



2

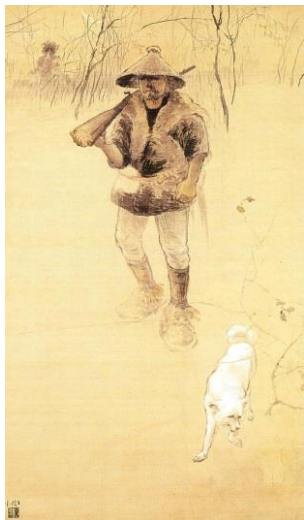
1 《武尊誅梟帥図》1893（明治 26）年 秋田県立近代美術館

2 《田舎嫁入》1899（明治 32）年 東京藝術大学

## 2 章

## 无声会時代

1900（明治 33）年から大正初期まで、百穂は自然主義を標榜する<sup>むせいかい</sup>无声会で、目の前のものを観察し写し取  
ることを追究し、単に外形を写すだけでない、その場の感興をも写す「写生」観を築いていきました。また  
雑誌や新聞の仕事にも携わり、日本画や洋画という枠を越えて活動と交際の範囲を広げていきました。



3



4



5

- 3 《獵夫》1903（明治 36）年 秋田市立千秋美術館 ※この作品は前期（～8月4日）のみ展示となります。
- 4 《押すな押すな》1903（明治 36）年
- 5 《アイヌ》1909（明治 42）年 東京国立近代美術館

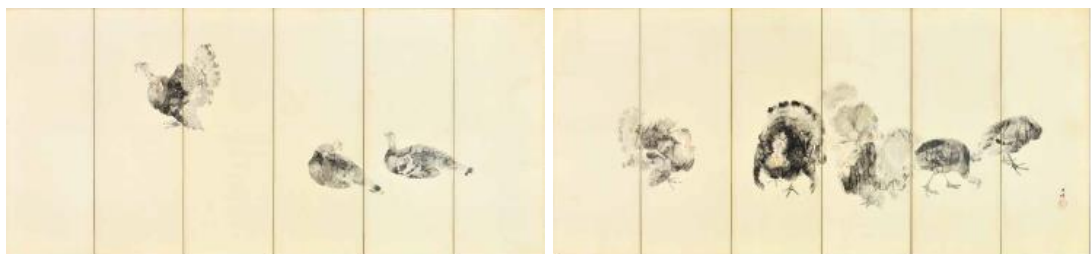
## 3 章

## 「画伯」へ

大正初頭、新聞雑誌の挿絵で人気を得ていた百穂は、再び日本画制作に注力し、文展での評価を高めていきました。歌作の意欲も湧き、この頃からアララギ派の歌人との交流も頻繁になっていきます。歌人たちから「平福さん」と呼ばれていた百穂は、画名が上がるにつれ、いつしか「画伯」<sup>がほく</sup>と呼ばれるようになりました。



6



7

- 6 《木槿の頃》1910（明治 43）年 仙北市立角館町平福記念美術館
- 7 《七面鳥》1914（大正 3）年 おすすめ画像



## 4 章

## 珊瑚会、金鈴社と官展

画壇での地位を確かにした百穂は、しかし画壇政治とは距離を置き、官展（政府主催の展覧会）よりも自由に制作発表できる珊瑚会や金鈴社の活動を優先させました。やまと絵や琳派など様々な古典絵画を研究し、表現の幅を広げていきます。官展へは第7回帝展から出品を再開。いよいよ円熟の境を見せていきました。



8

8 《<sup>かり</sup>狩》1920（大正9）年 宮城県美術館 [おすすめ画像](#)



9

9 《<sup>ありそ</sup>荒磯》1926（大正15）年 東京国立近代美術館 [おすすめ画像](#)



10

10 《<sup>しんとう</sup>新冬》1927（昭和2）年

## 5 章

## 洋行を経て一晩年

ヨーロッパを周遊してその文化や美術に触れた百穂は、それに感化されず、むしろ自身の写生観を強く確信することとなりました。また日本の自然美を再認識する契機ともなりました。晩年の百穂は、ひたすらに自然を見つめ、次なる画境へと向かっていきました。



11

11 《高原》1931（昭和6）年 京都国立近代美術館



12

12 《<sup>はるのやま</sup>春山》1933（昭和8）年 秋田県立近代美術館 [おすすめ画像](#)



**会期** 2019年7月13日(土)～9月1日(日)

※会期中展示替えがあります

前期：7月13日～8月4日 後期：8月6日～9月1日

**休館** 毎週月曜日(ただし7月15日, 8月12日は開館),  
7月16日(火), 8月13日(火)

**主催** 宮城県美術館, 読売新聞社, 美術館連絡協議会, ミヤギテレビ

**協賛** ライオン, 大日本印刷, 損保ジャパン日本興亜

**後援** 仙台市教育委員会, 河北新報社, NHK仙台放送局, TBC東北放送,  
仙台放送, KHB東日本放送, エフエム仙台

**観覧料** 一般1,300円, 学生1,100円, 小・中・高校生650円

**前売および20名以上の団体料金**

一般1,100円, 学生900円, 小・中・高校生500円

**前売券販売所** ※2019年6月8日から7月12日まで発売

## 関連イベント

### ■ 講演会

「百穂についての覚え書き」講師：山本文志(秋田県立博物館学芸員)

7月13日(土)午後1時30分～, 講堂, 聴講無料 ※開場は午後1時～

### ■ まちなか美術講座

「東北ゆかりの日本画家 平福百穂」

担当：菅野仁美(当館学芸員) 7月20日(土)午後1時30分～

東北工業大学一番町ロビー 2階(仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル) 入場無料

### ■ 展示解説

8月3日、17日 いずれも土曜日、午後2時～

担当：当館学芸員 観覧券をお求めの上、2階展示室入口にお集まりください。

### 連絡先

宮城県美術館 〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 (担当：菅野、加野)

電話：022-221-2111 FAX：022-221-2115

<http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/> [https://twitter.com/miyagi\\_bijutu](https://twitter.com/miyagi_bijutu)

## 作品画像使用申込書

特別展

## 平福百穂展

担当行

宮城県美術館 FAX : 0 2 2 - 2 2 1 - 2 1 1 5

作品画像の使用を希望する場合、下記の注意書きをお読みになり、FAXにてお申し込みください。

- ・作品画像のご使用は、本展を紹介いただける場合に限りです。本展覧会終了後は使用できません。
- ・作品画像は必ず全図でご使用ください。トリミング、文字乗せ不可。
- ・掲載に当たっては、必ずキャプションをご記載ください。
- ・クレジット表記などの確認のため、校正段階で原稿をFAXもしくはメールにてお送りください。
- ・掲載物(誌、URL、DVD等)を1部ご送付くださいますようお願いいたします。

掲載希望画像	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 ※○で囲んでください。おすすめ画像は7, 8, 9, 12です。
貴社名	
所在地	
TEL	FAX
e-mail	
媒体・番組名	
発行・放送予定日	月 日 ( : ~ : )
ご担当者	

## チケットプレゼント申込書

特別展

## 平福百穂展

担当行

宮城県美術館 FAX : 0 2 2 - 2 2 1 - 2 1 1 5

本展覧会のチケットプレゼント（招待券）を希望される方は、本用紙に必要事項を記入の上、展覧会担当まで FAX でお申し込みください。

なお、チケットの提供は、貴社の媒体にて本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。

貴社名			
メディア・部署			
ご担当者			
所在地	〒		
TEL		FAX	
e-mail			
掲載・紹介予定日／ コーナー名等			
希望枚数	枚（※5組10枚まで）		
通信欄 （ご希望がありましたらご記入ください）			